学校番号	４０５

令和２年度　芸術　［音楽］

教科	音楽	科目	音楽理論	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書							
副教材等	音楽通論（教育芸術社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

■　楽典、楽曲の形式、和声法の領域について理解し、演奏様式の特徴をつかむ鑑賞能力の向上をはかる。また、実習、楽曲分析を通して、身につけた知識を演奏に活用する。

■　学習の到達度は、授業で配布・回収するワークシート、筆記テスト、実技テストで評価する。

実技テストは、授業中に受講生の前で演奏する発表会の形式で行います。

2　学習の到達目標

音楽に関する基礎的な理論を理解させるとともに、表現と鑑賞に活用する能力を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽は様々な要素(音色・リズム・和声・速度・旋律・テクスチュア、強弱、形式、構成など)が関連しあって形づくられていることを判別し、受け入れる。	楽譜に書かれていることを演奏するために必要な情報をとらえるだけでなく、イメージを楽譜上に表現することができる。	消えてなくなる音楽をより良く記譜する技術はもとより、楽譜に表現された音にある規則を読み取ることができる。	様々な音楽を聴き、それぞれの音楽が持つよさや美しさを味わう。リズム・和声などの音楽を構成する要素を分析的に捉え、創造性に着目して鑑賞する。
評価方法	観察 到達度テスト 演奏発表	観察 到達度テスト 演奏発表	観察 到達度テスト 演奏発表	ワークシート 鑑賞の記録

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
		a	b	c	d		
1学期	**楽譜の仕組み** ①音の長さ ②音の高さ ③記号	○	○	○		a:音を楽譜上に表現するための規則とそれが表現する音楽とのかかわりに興味・関心をもっている。 b:楽譜から音楽を読み取り忠実に表現することができる。 c:表現したいことを伝えるための記譜法を身につけている。	ワークシート ペーパーテスト
	音楽の仕組み ①音程 ②音階 ③和声	○	○	○		a:音楽を構成している音程と音階のしくみとそれが表現する音楽とのかかわりに興味・関心をもっている。 b:楽譜から和声の要素を読み取り忠実に表現することができる。 c:イメージしたハーモニーがどのような和声構造で出来上がっているかを理解できている。	ワークシート ペーパーテスト
2学期	**コード進行の理論と実践** **～キーボード実習～**	○	○	○	○	a:与えられた課題曲のコード進行のしくみに興味・関心をもっている。 b:コードの違いから受ける曲想の違いを把握して、主体的に表現を工夫している。 c：より自然な流れを表現するために、様々なコード進行を工夫することができる。 d：実際の楽曲からコード進行のもつイメージを感じ取り、表現に結び付けることができる。	ワークシート ペーパーテスト 演奏発表
3学期	**楽曲分析** **～主題からの変奏～**	○	○	○	○	a:音楽作品を構成するリズム・和声・形式などの要素に興味・関心をもっている。 b:主題をもとに変奏を創作する中で、コード進行の特徴を生かした表現を主体的に工夫している。 c：楽譜から作品の構成要素を読み取り、その内容を生かした変奏を記譜することができる。 d：主題の特徴を感じ取り、そのイメージがどの要素からもたらされるものかを分析して聴くことができる。	ワークシート ペーパーテスト

※　表中の観点について　a:音楽への関心・意欲・態度　b:音楽表現の創意工夫
c:音楽表現の技能　d: 鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。